

下諏訪総合文化センター改修記念事業

中村梅雀

Music day



梅津和時



是方博邦



川口千里



高橋香織



久米大作



仙波清彦

2026

8/9 [日] 開場 13:00
開演 14:00

会場 下諏訪総合文化センターやまびこホール

チケット発売開始: 6月15日[月]

全席自由

一般 3,000円 / 18歳以下 1,500円

チケット取扱い・お問い合わせ

- ① 下諏訪総合文化センター(受付時間 9:00~17:00)
- ② 電話 0266-28-0018
- ③ 2次元コード ※右記のコードを読み取りください



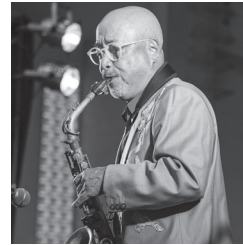
主催: 下諏訪町 / 下諏訪町教育委員会 後援: テレビ信州

Profile



中村梅雀 [ベース]

1955年(昭和30年)東京生まれ。俳優、ベーシスト、作曲家。昨年、芸能生活60周年を迎えた。祖父は三世中村翫右衛門、父は四世中村梅之助。代表作に大河ドラマ『八代将軍吉宗』(松尾芸能賞)、映画『山中静夫氏の尊厳死』(映画批評家大賞主演男優賞)、ドラマシリーズ『信濃のコロンボ』、ミュージカル『昭和元禄落語心中』、などジャンルにこだわらず幅広く出演。クラシックのピアニストだった母の影響で音楽を聴いて育ち、ベース歴は58年。松原正樹、山崎ハコ、小椋佳などのレコーディングに参加。2008年オリジナル曲のソロアルバム『Bright Fortune』をリリース。自身が主演のドラマ『赤かぶ検事奮戦記』、『機捜235』などのテーマ曲や挿入曲を作曲・演奏している。



梅津和時

[サクソ]

RCサクセションや忌野清志郎のサポートとしても知られている。

70年代から現在まで、ジャズ、ロック、クレズマーなど多くのジャンルで活躍。過去には自己のバンドとして「生活向上委員会」[D.U.B.]等。現在は「KIKI BAND」「こまっちゃんクレズマ」を率いる。



是方博邦

[ギター]

大阪生まれ、神戸育ち。1975年大村憲司(G)に誘われ上京、村上(ボン太)秀一(Dr)、小原礼(B)らと『カミーノ』に参加。1977年『桑名正博 & ティアードロップス』に参加。「セクシャルバイオレットNo1」の楽曲でベストテン1位。1979年『高中正義グループ』に参加。サンフランシスコ、ロスアンジェルス公演に同行。また、サンタナグループのジョイントコンサートで全国ツアー。1982年『松岡直也グループ』に参加。フランスのニースジャズフェス、スイスのモントルージャズフェスに同行。1983年デビューソロアルバム『KOBÉ KOREKATA』から2021年の『Waves』まで10枚のソロアルバムリリース。現在、「Solo Guitar」を始め「是ちゃん+ACEちゃん」「Rocket Jam」杉山清貴との「Rock Unit」など、幅広くセッションライブ活動。



川口千里

[ドラム]

1997年、愛知県生まれのドラマー。5歳でドラムを始める。「YouTube」でのドラム演奏動画は世界中から注目され、その総再生回数は現在およそ4,000万回。これまで4枚のオリジナルアルバムと2枚のライブDVDをリリース。アルバム「Dynamogenic」は第27回日本プロ音楽録音賞ベストパフォーマー賞を受賞し、アメリカのドラム専門誌「DRUMHEAD MAGAZINE」の表紙を飾るなど、海外からの注目も高い。ブルーノート東京オールスター・ジャズ・オーケストラやTHE JAZZ AVENGERSなどでも活躍すると同時に、国内外のセッションやレコーディング、ドラムセミナー、海外アーティストのサポートに加え、吹奏楽やオーケストラからのオファーも絶えない。



久米大作

[キーボード]

1977年フュージョン・グループの“プリズム”のオリジナル・メンバー、キーボーディストとしてデビュー。その後“スクエア”(T-スクエア)に加入。さらに幅広いジャンルに関わり映画「その男凶暴につき」ほかの音楽や、辛島美登里、ピチカートファイブ、ラルク・アン・シエル(オーケストラ)等のアレンジを手掛け多方面で活躍。現在は仙波清彦、是方博邦、梅津和時等のセッションや、和田アキラ、バカボン鈴木、佐野康夫等と自己のセッション『4DK』で熱いライブを展開している。また演劇、ミュージカルの作品にも多く関わり『焼肉ドラゴン』『パーマ屋スマイル』『ぼくに炎の戦車を』ほか井上ひさし作品等多くの話題作に作曲、音楽監督として参加している。



高橋香織

[ヴァイオリン]

4歳からバイオリンを始め、桐朋学園大学を卒業の後、田崎真珠(株)の奨学金を得てスイスのインターナショナル・メニューイン・ミュージック・アカデミーを経てベルリン国立芸術大学卒業。ダルムシュタット夏期国際現代音楽セミナー演奏家賞受賞。現在はエレクトリック&アコースティックバイオリニスト、ピオラ奏者としてセッションやレコーディング、ミュージカルでの演奏、後進の指導など、活動は多岐に渡る。



仙波清彦

[パーカッション]

邦楽囃子仙波流家元。先代仙波宏祐の長男として東京都に生まれる。3歳の頃から父に邦楽を学ぶ。東京芸術大学音楽学部邦楽科卒業。中学のころより邦楽と別に、ドラムパーカッションを学ぶ。T SQAIREでデビュー以後、スタジオミュージシャンを経て様々なバンド(はにわオールスターズ、カルガモーズ等)を作り、ドラム、民族パーカッション、おもちゃ、他、音の出るもの全てを駆使し日本のみならず世界で活躍している。愛称は「師匠」。